

愛媛県立医療技術大学大学院の概要

1 必要性

- 近年の保健医療を取り巻く環境変化を踏まえ、保健医療を担う専門職には、高度専門職業人としての多様な役割が期待されている。
- 保健医療の現場からは、医療の急速な進歩等に的確に対応できる人材の育成や、様々な医療専門職との連携・協働の中核となるリーダー育成の要望が強い。また、看護師等を養成する教育機関からは、質の高い教育を提供するためキャリアアップを図りたいとの要請が常に出されている。
- 県内の保健医療分野の大学院は、愛媛大学医学部医学研究科のみであり、県立大学の充実が強く求められている。

2 目的

「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な調整能力・指導力・教育力等を有する高度専門職業人を養成することにより、本県の保健医療関係職種の高品質の向上を図り、もって県民の生涯を通じた健康づくりと保健医療水準の向上に寄与する。

3 研究科・専攻の名称

保健医療学研究科（修士課程）

- | | |
|----------|-----------------|
| 看護学専攻 | 【学位：修士（看護学）】 |
| 医療技術科学専攻 | 【学位：修士（医療技術科学）】 |

4 標準修業年限

原則2年 ※社会人が在職のまま大学院教育が受けられるよう昼夜開講

5 定員

看護学専攻5名、医療技術科学専攻3名

対象者は、県内の保健医療福祉機関等で就業している看護職及び臨床検査技師、保健医療系専修学校に勤務する教員、進学希望の学部卒業生等を想定

6 専任教員等

専任教員28名のうち研究指導教員23名、研究指導補助教員5名

7 大学院開設後の構成及び定員

区分	学部／研究科	学科／専攻	入学定員（収容定員）
大学	保健科学部	看護学科	75名（300名）
		臨床検査学科	25名（100名）
	助産学専攻科		15名（15名）
大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	5名（10名）
		医療技術科学専攻	3名（6名）

8 開設

平成26年4月1日